

2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月8日
東

上場会社名 大阪油化工業株式会社 上場取引所
 コード番号 4124 URL <https://www.osaka-yuka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 哲平
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役業務部長 (氏名) 島田 嘉人 (TEL) 072-861-5322
 四半期報告書提出予定日 2023年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績(2022年10月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	379	19.8	109	103.8	109	103.3	71	123.5
2022年9月期第1四半期	316	△13.5	53	△31.7	53	△36.5	32	△43.5

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 71百万円(123.5%) 2022年9月期第1四半期 32百万円(△43.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	68.98	68.91
2022年9月期第1四半期	30.42	30.38

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	1,994	1,801	90.3
2022年9月期	2,058	1,813	88.1

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 1,801百万円 2022年9月期 1,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,250	5.9	150	9.1	150	7.1	100	13.3	94.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期1Q	1,073,500株	2022年9月期	1,073,500株
② 期末自己株式数	2023年9月期1Q	51,506株	2022年9月期	11,506株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期1Q	1,041,124株	2022年9月期1Q	1,056,394株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年10月1日～2022年12月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され社会経済活動の正常化が進むなか、一部の業種では景気回復の兆しが見られました。しかしながら、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う資源・原材料価格の高騰や世界的な金融引き締めなどによる海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。

このような状況のもと、当社は2022年11月10日に公表しました3か年中期経営計画(2023年9月期～2025年9月期)に基づき、

- ①事業継続力の強化
- ②自社製品開発の推進
- ③品質性能の向上

等の企業活動に取り組み、長期的な企業価値向上に努めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、受託蒸留事業において多様な蒸留案件の引き合いが増加したことに加え、当第1四半期連結累計期間において蒸留案件が集中したこと、また、プラント事業において前期からの納期の遅れが解消された結果、379,410千円(前年同期比19.8%増)となりました。利益面におきましては、将来を見据えた人材投資による人件費の増加及び原油価格高騰等に伴う製造経費の増加があったものの、増収によりコスト増加分を吸収できたため、営業利益は109,405千円(前年同期比103.8%増)、経常利益は109,174千円(前年同期比103.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は71,815千円(前年同期比123.5%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

(受託蒸留事業)

受託蒸留事業におきましては、電子材料向け案件を中心に多様な蒸留案件の引き合いが増加したことに加え、当第1四半期連結累計期間において蒸留案件が集中したことにより、受託蒸留事業の売上高は347,850千円(前年同期比16.8%増)、セグメント利益は177,124千円(前年同期比40.6%増)となりました。

(プラント事業)

プラント事業におきましては、前期からの納期の遅れが解消されるとともに、蒸留装置・ろ過装置ともに受注獲得が着実に進んだことにより、プラント事業の売上高は56,548千円(前年同期比37,503千円増)、セグメント損失は3,646千円(前第1四半期連結累計期間はセグメント損失15,661千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ64,209千円減少し、1,994,355千円となりました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ41,905千円減少し、1,030,919千円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が66,780千円増加したものの、現金及び預金が105,384千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ22,304千円減少し、963,435千円となりました。主な要因は、繰延税金資産が20,536千円減少したことによるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ51,535千円減少し、193,243千円となりました。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ50,005千円減少し、180,190千円となりました。主な要因は、契約負債が12,129千円増加した一方、未払費用が30,679千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,530千円減少し、13,053千円となりました。主な要因は、繰延税金負債が1,530千円減少したことによるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ12,674千円減少し、1,801,111千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が46,765千円増加した一方、自己株式立会外買付取引の実施により自己株式が59,440千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績予想につきましては、2022年11月10日付「2022年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。当第1四半期連結累計期間における業績は、通期の連結業績予想に対し進捗率が極めて高い状態となっておりますが、通期では計画通りの進捗を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	801,362	695,978
受取手形、売掛金及び契約資産	119,310	186,090
電子記録債権	—	4,447
商品及び製品	54,218	58,682
仕掛品	35,365	32,604
原材料及び貯蔵品	30,060	28,281
前払費用	21,763	15,461
その他	10,743	9,371
流動資産合計	1,072,825	1,030,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	415,410	412,105
機械装置及び運搬具（純額）	188,995	196,836
土地	157,071	157,071
建設仮勘定	43,545	45,749
その他（純額）	51,523	48,035
有形固定資産合計	856,546	859,798
無形固定資産		
のれん	25,774	23,841
顧客関連資産	43,428	41,392
ソフトウェア	3,759	3,338
その他	429	429
無形固定資産合計	73,391	69,001
投資その他の資産		
長期前払費用	4,901	4,271
繰延税金資産	40,245	19,708
その他	10,654	10,654
投資その他の資産合計	55,802	34,635
固定資産合計	985,739	963,435
資産合計	2,058,564	1,994,355
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,686	20,439
未払費用	66,064	35,385
未払金	33,987	30,736
未払法人税等	37,813	21,197
未払消費税等	22,604	25,598
契約負債	6,996	19,125
賞与引当金	23,568	6,046
預り金	21,130	17,977
その他	345	3,684
流動負債合計	230,195	180,190
固定負債		
繰延税金負債	14,583	13,053
固定負債合計	14,583	13,053
負債合計	244,778	193,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	346,497	346,497
資本剰余金	313,039	313,039
利益剰余金	1,172,362	1,219,127
自己株式	△18,113	△77,553
株主資本合計	1,813,786	1,801,111
純資産合計	1,813,786	1,801,111
負債純資産合計	2,058,564	1,994,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2022年12月31日)
売上高	316,805	379,410
売上原価	162,467	166,652
売上総利益	154,337	212,757
販売費及び一般管理費	100,658	103,352
営業利益	53,678	109,405
営業外収益		
受取手数料	10	5
その他	18	—
営業外収益合計	29	5
営業外費用		
支払手数料	—	235
固定資産除却損	—	0
その他	1	0
営業外費用合計	1	235
経常利益	53,706	109,174
税金等調整前四半期純利益	53,706	109,174
法人税、住民税及び事業税	924	18,352
法人税等調整額	20,648	19,006
法人税等合計	21,572	37,359
四半期純利益	32,133	71,815
親会社株主に帰属する四半期純利益	32,133	71,815

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	32,133	71,815
四半期包括利益	32,133	71,815
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,133	71,815
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年11月11日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、2022年11月14日付で、自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、株式数40,000株、取得価額59,440千円を取得いたしました。この取得により、当第1四半期連結会計期間末日現在の自己株式は、51,506株、77,553千円となっております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において「流動負債」の「その他」に含めていた「契約負債」は、当第1四半期連結会計期間より区分掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表の組替えを行っております。

なお、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に含まれる「契約負債」は6,996千円であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	受託蒸留事業	プラント事業	合計		
売上高					
受託加工	230,578	—	230,578	—	230,578
研究開発支援	67,181	—	67,181	—	67,181
プラントサービス	—	19,045	19,045	—	19,045
顧客との契約から生じる収益	297,760	19,045	316,805	—	316,805
外部顧客への売上高	297,760	19,045	316,805	—	316,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	297,760	19,045	316,805	—	316,805
セグメント利益又は損失(△)	126,013	△15,661	110,352	△56,673	53,678

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の△56,673千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△58,128千円、セグメント間取引消去1,455千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	受託蒸留事業	プラント事業	合計		
売上高					
受託加工	297,309	—	297,309	—	297,309
研究開発支援	50,541	—	50,541	—	50,541
プラントサービス	—	31,560	31,560	—	31,560
顧客との契約から生じる収益	347,850	31,560	379,410	—	379,410
外部顧客への売上高	347,850	31,560	379,410	—	379,410
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	24,988	24,988	△24,988	—
計	347,850	56,548	404,399	△24,988	379,410
セグメント利益又は損失(△)	177,124	△3,646	173,478	△64,073	109,405

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の△64,073千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△64,925千円、セグメント間取引消去852千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。